

溪和会江別病院 平成27年度病院指標

4 成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
重症度0	-	-	-
重症度1	23	12.61	75.57
重症度2	20	19.3	81.4
重症度3	-	-	-
重症度4	-	-	-
重症度5	-	-	-

重症度別の患者数では、重症度1～2までの中等度の患者さんとなっております。
重症度が上がるほど、患者さんの平均年齢が上がり、平均在院日数が長くなる傾向があります。
平成27年度は呼吸器の常勤医師が不在でしたが、平成28年度から常勤となりましたので、呼吸器疾患の入院対応が可能となりました。

<定義>

市中肺炎…病院外で日常生活をしていた人に発症した肺炎のことです。院内での発症は含みません。

重症度…身体所見、年齢による肺炎の重症度分類(A-DROPシステム)により、年齢性別や血液中の酸素濃度、脱水症状の有無、意識障害の有無等で0～5または不明に分類しています。数字が大きいほど重症となっております。

集計対象…当院を平成27年4月1日～平成28年3月31日までに退院した患者さんのうち、肺炎をきっかけに入院し、その治療に最も医療資源を投入した患者さんです。ただし、ウイルス性肺炎、誤嚥性肺炎は除きます。